



事例4 無料通話アプリへの依存

最近、栄太くんは友だちと連絡するためにスマートフォンを買ってもらい、お母さんの許しをもらって、無料通話アプリをダウンロードしました。今まで使っていたメールよりもやり取りが手軽なため会話はテンポよく進み、気がつくまで深夜までスマートフォンを使い友だちと会話をしている日が続いています。

お母さんが心配し「やめなさい」と言っても、栄太くんは「返信しないと、仲間外れにされるから」と言って、やめようとしません。

お母さんは栄太くんに仲間外れになってほしくないと思いながら、友だちとの会話の中身も分からないため、無料通話アプリを栄太くんが利用し続けていることが不安です。

この事例の問題点は……？

■ グループワークで考えてみましょう！

- 子供が自室にスマートフォンを持ち込み、夜遅くまで利用していたら、どのように対応しますか？
- 無料通話アプリを利用することには、どんな危険が潜んでいるのでしょうか。
- 友だちを理由にやめられない場合、親としてはどのように対応しますか。

■ 親子で話し合うつもりで考えてみましょう！

子供と一緒にこの事例について考えた時、子供から次のようなことを言われた場合どのように対応しますか？

質問例①

子：携帯電話で会話するよりも安いから無料通話アプリをダウンロードしても構わないよね。

親：

質問例②

子：お金もかからないし、友だちがみんなやっているから別に夜中までやっても問題ないと思うよ。

親：

この例のほかにも、子供が質問しそうなこと、相談しそうなことを話し合ってみましょう。

■ 実際に「ルール」を作ってみましょう！

子供が宣言したルールを守っていれば「○」、守れていないときには「×」をつけましょう。

私の宣言書（子供に宣言させましょう）	1週間後	2週間後	
子供の宣言文：私は、無料通話アプリをやりすぎず、〇〇時までには寝ます。 約束を守れなかったら、1週間、午後8時以降はスマートフォンを使いません。			
子供の宣言文：私は、勝手にアプリをダウンロードしません。 約束を守れなかったら、			
子供の宣言文：私は、 約束を守れなかったら、			